

2008.1.6

司祭のてがみ

No. 31

行橋カトリック教会・豊津巡回教会 主任司祭：ミカエル山元真

新年 あけましておめでとうございます。

今年も よろしく願いいたします。



何かをするかしないか、何かを変えるか変えないか、ということの理由は、愛そのものでなければならないのです。愛はすべての行動の理由であり、その目標であるべきです。
《ヨハネ・パウロ2世》

2002年4月5日に行橋小教区に赴任して今年7年目に入ります。この間、教会内外の皆さんにたいへんお世話になり、おかげさまで、また新しい年をいただきました。感謝いたします。赴任当時ピッカピッカの小学一年生は今年は中学生になります。そのことを考えますと、ずいぶんと時が経ったと感慨深くなります。この間、一生懸命務めて来たつもりですが、マンネリ化したり、気力が衰えてきた面もあることに気づかされます。新しい年の始めにあたり、また新しい気持ちで宣教、司牧に励んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

名前と顔を…

豊津教会の新年のご挨拶で申し上げたことですが…。赴任当初は、皆さんの名前とお顔を早く覚えるように務めていましたが、その

パワーの衰えを近年感じています。まず、この努力から始めたいと思います。えっ、今さら！？と思われる方もおられると思いますが、初心に戻るためにはこのことが一番です。名前とお顔が一致するのは、おそらく30パーセントの皆さんくらいでしょう。すみません。こんなものです。今年はもっと努力します。ちなみに、NHKの最近の調査では、一番好かれている「ことば」は《ありがとう》や《やさしさ》だそうで、《努力》は10年前にくらべてずいぶん順位がさがっているそうです。《根性》という言葉などは、ほとんど死語になりつつあるようです。《努力》や《根性》をいやというほど聞かされて育った昭和生れのわたしとしては、なつかしい言葉でもあり、あえて世相に逆らって、今年はこの二つの言葉《努力》と《根性》で生きていきたいと考えているところです。

人口調査？

聖ヨセフと聖マリアさまは人口調査のためにベツレヘムに行かねばなりませんでした…。よく知られた「降誕物語」の一節です。

年始めのこの時期、毎年「教勢」報告をしなければなりません。「教勢」というのは、小教区の状態を数値で教区本部に報告するものです。信徒数や洗礼、結婚、死者、転出入者の数や教会学校や求道者の状況を報告するのです。一大作業です。というのも、小教区の所属信者の状態がまだよくつかめていないからです。「教勢調査」の目的は、小教区の状態を的確にとらえて司祭や信者がたがいに奉仕し合うためです。以前、皆さんの家庭の状況をお知らせしていただきましたが、まだ、全部を整理できていません。この作業をさっそく始めますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

信者はどなたでも、どこかの小教区に所属していなければなりません。それは、魂のために必要なサービスを得るためです。皆さんの生活を監視したり、プライベートなところまで踏み入ることではありません。司祭にとって、また教会にとって与えられた使命を果たすために必要なことですので、ぜひこの点をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

みんなが知っていること

赴任してきた2002年当初にいちばん気になっていたことは、情報を共有することでした。大切なことを一部の人が知っているだけでなく、みんなが知っていること。これはとても大切なことです。自分の所属する教会（小教区）のことだけでなく、近隣の教会のこと、地区（北九州地区）のこと、福岡教区（福岡・佐賀・熊本県）のこと、日本の教会のこと、世界の教会の動きを知ることは、今の自分の人生を豊かにするためにたいへん重要なことです。

《そんなのカンケーねえ～》という言葉が

もてはやされる社会です。わたしたちは一人で生きているのではなく、みんな（人類）がなんらかのつながりをもって「関係」して生きているのです。《そんなのカンケーねえ～》という生き方は福音（イエスさまの教え）に反対する生き方です。この言葉を聞くとムカムカします！

気になることがあります…。

「毎週のお知らせ」を隅から隅までご覧ください。掲示物も見てください。自由な配布物もできるだけお持ち帰りください。「聖書と典礼」のパンフレットも持って帰ってください。後の方が足らなくなっても結構です。実際に足らないようでしたら、追加注文いたします。「福岡教区報」は行橋教会ではレターボックスに入れ、豊津教会では各家庭に配布しています。今後はこの「司祭のてがみ」も豊津では各家庭に配っていただきます。よろしくお願いいたします。

ミサ参加

ある方が言っておられました。「ミサは参加するのが義務だから行きます…」その方に「いいえ、喜んで来ている方もおられますよ」と言うと、「信じられない！」という返事でした。ミサがなければ生きていけない！というくらいになればいいのに…。この点はわたしの努力も足りないと思います。ミサがかけがえのないほど大切なものだということをもっと知っていただかなければ…。ミサの本当の意味を伝えなければ…。

皆さん、とくに典礼委員の皆さんのご協力を得て、ミサ典礼の充実をはかってまいります。「来てよかった！」「人をさそいたい！」というミサができますように…。第1日曜日のミサ時間を変更します。7時のミサはありません。行橋教会では9時から。豊津教会では11時からにします。

小さなお子さんがいる家庭や仕事で疲れているお父さん、若者が参加しやすいのではないかと考えています。期待しています！